

工事監理・工事状況報告書（鉄筋コンクリート造）

（第一回特定工程）基礎・地中ばり部分

年 月 日

仙台市建築主事 又は 指定確認検査機関 様

確認済証番号	年 月 日 第 号
建築主氏名	
建築場所	仙台市 区

上記、工事中の建築物の（工事監理・工事状況）に係る結果を次のとおり報告します。

報告者	() 建築士 (大臣・知事) 登録第 号
工事監理者	() 建築士事務所 (知事) 登録第 号
住所	
代表者	

設計図書と照合した結果、変更は ☐ ありません。
☐ ありますので、別添のとおりに報告書を添付します。

確認項目		内 容		工事監理者		検査員用		摘 要
				検査結果	指摘番号	検査方法	結 果	
敷地等	敷地	a	道路幅員・接道長			A B	適・否	
		b	確認表示板の設置			A	適・否	
		c	確認済証の図書の備え			A C	適・否	
		d	建築物の道路・敷地境界線からの 離れ及び敷地形状			A B C	適・否	
		e	高さ1,8m以上の仮囲い			A	適・否	
		f	落下物に対する防護			A	適・否	
		g	山止め			A C	適・否	
①全体	共通	a	基礎、柱、はり、壁、階段、スラブ等位置の確認			A C	適・否	
		b	かぶり厚さの確認			A B C	適・否	
		c	鉄筋の材質の確認			A C	適・否	
②地盤	支持地盤	a	支持地盤の位置、種類、地耐力等の確認			A C	適・否	
③基礎	種類	a	基礎の種類、杭の工法、長さ、径、 偏心による補強等			A C	適・否	
	ベース	b	基礎寸法、主筋径、本数、主筋位置、 杭頭補強筋			A C	適・否	
	地中ばり	c	断面寸法、主筋径、本数、主筋位置			A B C	適・否	
		d	定着方法、継手(位置、長さ)			A B C	適・否	
		e	あばら筋の位置、径、間隔形状等			A B C	適・否	
		f	あばら筋のフック形状、結束状況			A C	適・否	
	柱	g	主筋径、本数、主筋位置、			A B C	適・否	
		h	定着（基礎部分）			A C	適・否	
		i	帯筋の位置、径、間隔形状等			A B C	適・否	
		j	帯筋のフック形状、結束状況			A C	適・否	
④スラブ	スラブ筋	a	スラブ厚寸法、鉄筋のピッチと径			A B C	適・否	
		b	主筋配置と支持条件			A C	適・否	
	定着・重ね継手	c	定着長さとはり定着、隣接スラブ定着、 段差スラブ定着)			A B C	適・否	
		d	継手の位置と長さ			A B C	適・否	
	補強筋等	e	床スラブの出入隅部の補強			A C	適・否	
		f	開口補強筋			A C	適・否	
		g	階段部配筋と補強筋			A C	適・否	

⑤ そ の 他	補強筋	a	設備配管の位置			A	C	適・否	
	圧接継手	b	継手位置のずらし			A	B C	適・否	
		c	圧接形状（膨らみ、長さ、ずれ）			A	C	適・否	
		d	折れ曲がり、焼き割れ等の欠陥			A	C	適・否	
		e	強度確認等				C	適・否	
	溶接継手	f	継手位置のずらし			A	B C	適・否	
		g	溶接方法（突合せ）、裏当て材			A	C	適・否	
		h	割れ、内部欠陥の有無			A	C	適・否	
		i	溶接材料				C	適・否	
	機械式継手	j	継手位置のずらし			A	B C	適・否	
		k	カップ等等の固定、接合部の耐力			A	C	適・否	
		l	モルタル・グラウト材を用いた場合の強度			A	C	適・否	
		m	ナットを用いた場合のトルクの導入			A	C	適・否	
		n	圧着による場合の鉄筋との密着			A	C	適・否	
	型枠等	o	型枠状況、清掃状況等確認			A	C	適・否	

※ 検査方法 A 目視検査、B 計測検査、C 工事監理者報告

※ 二重線枠内には記入しないでください。

工事監理者指摘項目等の記録

指摘番号	内容及び結果

事務処理欄

受 付 日	年 月 日	指示書発送日	年 月 日		
検 査 日	年 月 日	合 格 日	年 月 日		

工事監理・工事状況報告書（鉄筋コンクリート造）

（第二回特定工程）二階床部分

平成 年 月 日

仙台市建築主事 又は 指定確認検査機関 様

確認済証番号	年 月 日 第 号
建築主氏名	
建築場所	仙台市 区

上記、工事中の建築物の（工事監理・工事状況）に係る結果を次のとおり報告します。

報告者	() 建築士 (大臣・ 知事) 登録第 号
工事監理者	() 建築士事務所 (知事) 登録第 号
住 所	
代表者	

設計図書と照合した結果、変更は ☐ ありません。
☐ ありますので、別添のとおりに報告書を添付します。

確認項目		内 容		工事監理者		検査員用		摘 要
				検査結果	指摘番号	検査方法	結 果	
① 全体	共 通	a	柱、はり、壁、階段、スラブ位置確認			A C	適・否	
		b	かぶり厚さ確認			A B C	適・否	
		c	鉄筋材質の確認			A C	適・否	
② 柱	1 階主筋	a	柱径寸法、主筋径、本数、配置（方向別主筋本数）			A B C	適・否	
		b	2 段筋の位置、間隔			A B C	適・否	
		c	2 階止まりの柱主筋の定着、2 階で継ぐ柱主筋の状況確認			A B C	適・否	
		d	柱の増打ち部分、1－2 階で柱寸法が異なる場合の柱絞り位置等の確認			A C	適・否	
	1 階帯筋	e	鉄筋径、間隔む、本数（副帯筋共）及び形状の確認			A B C	適・否	
		f	仕口部分の帯筋の配置確認			A C	適・否	
		g	帯筋のフック形状、あそび及び結束の確認			A C	適・否	
③ 大 ばり	2 階はり主筋	a	はり断面寸法、主筋径、本数、位置の確認			A B C	適・否	
		b	中吊り筋の間隔確保、長さ確認			A C	適・否	
	定着・継手	c	はり筋の定着長、位置確認			A B C	適・否	
		d	重ね継手の位置と長さ確認			A B C	適・否	
		e	はり筋出隅部の末端フック確認			A C	適・否	
	あばら筋	f	あばら筋の径、本数とピッチ確認			A B C	適・否	
		g	第1あばら筋位置、小ばり交差部のあばら筋確認			A C	適・否	
		h	あばら筋のフック形状、あそび及び結束の確認			A C	適・否	
	補強筋	i	貫通孔位置、補強方法の確認			A C	適・否	
④ 小 ばり・片持 ばり	小ばり・片持 ばり	a	片持ばり主筋の定着、あばら筋位置確認			A B C	適・否	
		b	小ばり配筋の位置と定着確認			A B C	適・否	
	補強筋	c	貫通孔位置、補強方法の確認			A C	適・否	

⑤ ス ラ ブ	スラブ筋	a	スラブ厚寸法、鉄筋ピッチと径の確認			A B C	適・否	
		b	主筋配置（短辺・長辺）と支持条件の確認			A C	適・否	
	定着・重ね 継手	c	定着長さ、定着位置（はり定着、隣接スラブ定着、段差スラブ定着）			A B C	適・否	
		d	継手の位置、長さ			A B C	適・否	
	補強筋等	e	開口部補強筋確認			A C	適・否	
		f	設備配管による開口補強			A C	適・否	
⑥ 壁	壁筋	a	壁厚寸法、鉄筋のピッチと径			A B C	適・否	
		b	定着位置確認 重ね継手位置の確認			A B C	適・否	
	補強筋等	c	開口補強筋配筋状況確認			A C	適・否	
		d	スリット（部分、完全）の位置、形状、及び配筋確認			A B C	適・否	
⑦ そ の 他	補強筋	a	設備配管の位置			A C	適・否	
		b	継手位置のずらし			A B C	適・否	
		c	圧接形状（膨らみ、長さ、ずれ）			A C	適・否	
		d	折れ曲がり、焼き割れ等の欠陥			A C	適・否	
		e	強度確認等			C	適・否	
	圧接継手	f	継手位置のずらし			A B C	適・否	
		g	溶接方法（突合せ）、裏当て材			A C	適・否	
		h	割れ、内部欠陥の有無			A C	適・否	
		i	溶接材料			C	適・否	
	溶接継手	j	継手位置のずらし			A B C	適・否	
		k	カップラー等の固定、接合部の耐力			A C	適・否	
		l	モルタル・グラウト材を用いた場合の強度			A C	適・否	
		m	ナットを用いた場合のトルクの導入			A C	適・否	
		n	圧着による場合の鉄筋との密着			A C	適・否	
	型枠等	o	型枠状況、清掃状況等確認			A C	適・否	
	既存コン クリート打 設部分の状 況確認	k	コンクリート打設後の養生			A C	適・否	
		l	コンクリートの調合及び圧縮強度の確認			A C	適・否	
		m	型枠存置期間の確認			A C	適・否	

※ 検査方法 A 目視検査、B 計測検査、C 工事監理者報告

※ 二重線枠内には記入しないでください。

工事監理者指摘項目等の記録

指摘番号	内容及び結果

事務処理欄

受 付 日	年 月 日	指示書発送日	年 月 日	第 1 回合格日	年 月 日
検 査 日	年 月 日	合 格 日	年 月 日		